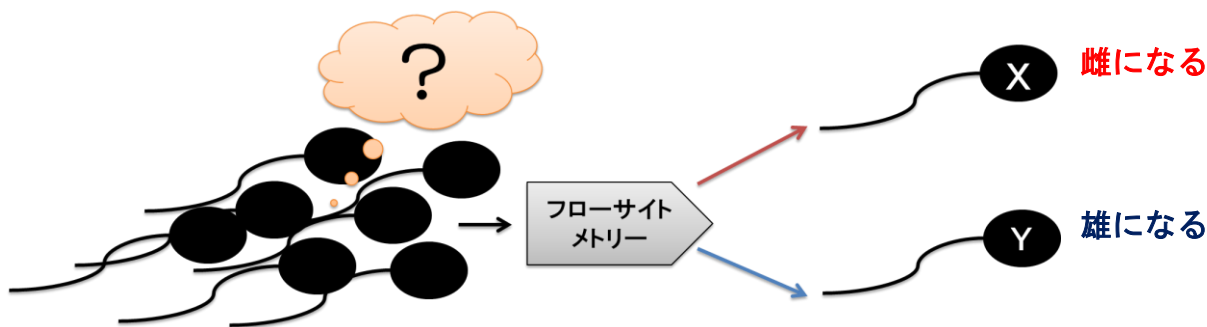


こんにちは 家畜保健衛生所です

雌雄判別精液の取り扱いについて

雌雄判別精液とは？

フローサイトメトリー（光学的分離装置：DNAの量を調べます）を用いて受精後雌になる精子（X精子）と雄になる精子（Y精子）を区別し、分離・収集したものです。



一般的な精液との違い

メリット

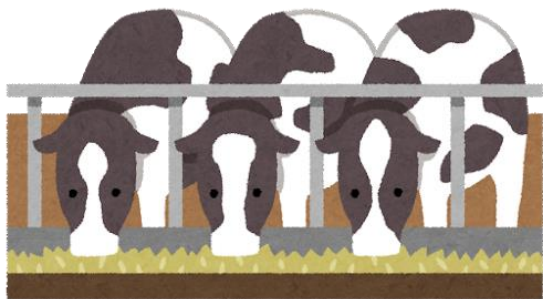
- ・ ストロー内のX精子の割合が90%（一般精液は50%）
→産子は90%の確率で雌になるため、後継牛の計画的な生産に役立ちます。
- ・ 体格が雄牛に比べて小さい雌牛を産むことで、出産時の事故リスクを軽減します。

デメリット

- ・ 性判別の追加費用がかかるため、一般精液よりも値段が高くなります。
- ・ ストロー内の精子数が一般的なものよりも少なく、性判別処理の影響もあり、受胎率が通常のものより若干低下します（15～20%）。

100%では
ありません

* 妊娠期間、出生時体重、死産率、産子の発育性及び繁殖性に関しては一般精液と比較しても差が認められません。



国内では

- ・ 社団法人家畜改良事業団 (Sort⁹⁰)
- ・ 一般社団法人ジェネティクス北海道 (GH-X)
が雌雄判別精液を製造・販売しています。

（輸入精液にも雌雄判別精液はあります。）